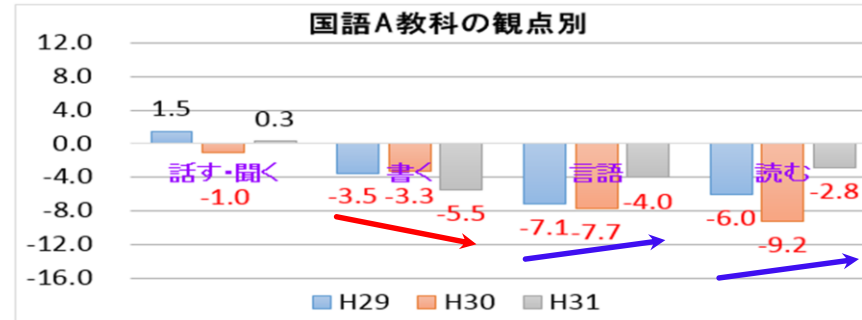
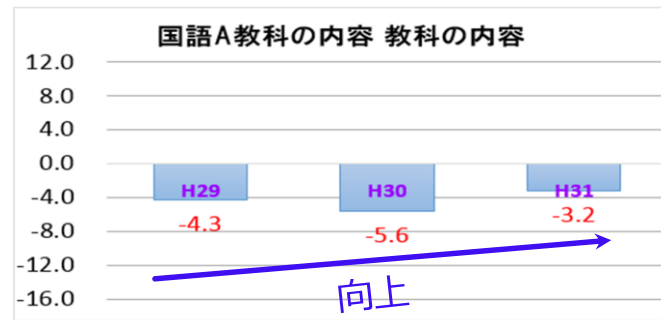
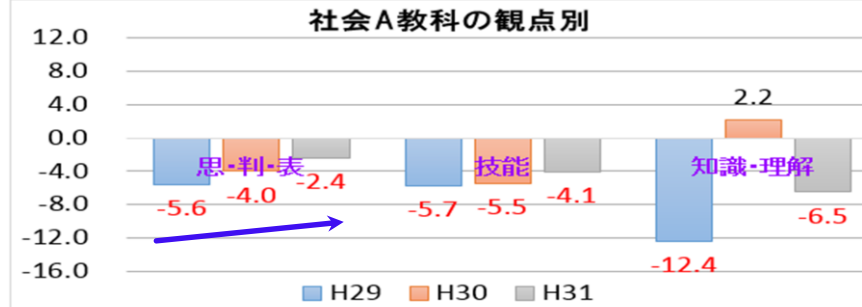
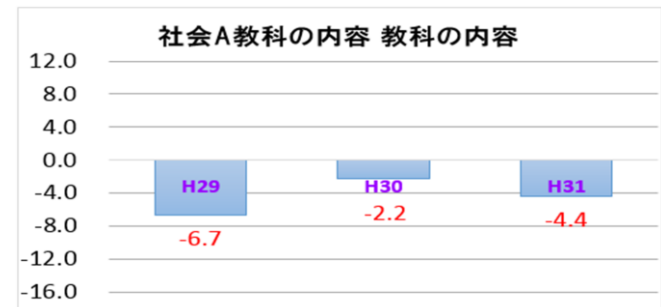


1 都と本校の平均正答率の差【単位:%】



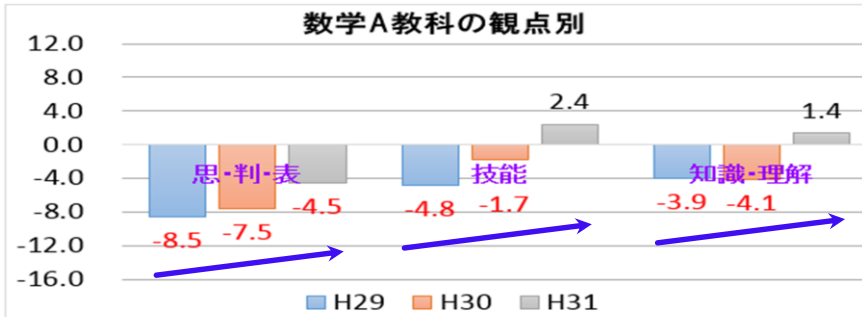
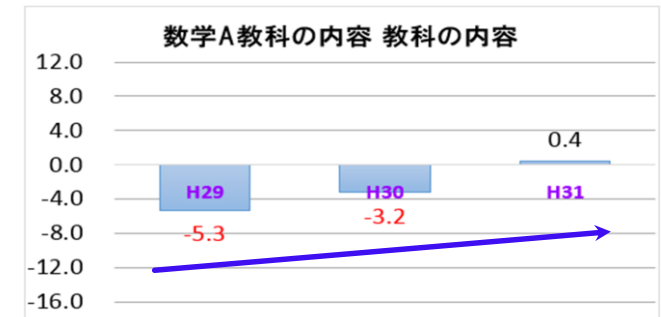
【成果】
言語についての知識・理解・技能では、漢字の読むこと・書くことが向上している。

【課題】
書く能力では、自分の考えの根拠に基づき明確に書くことに弱みがある。



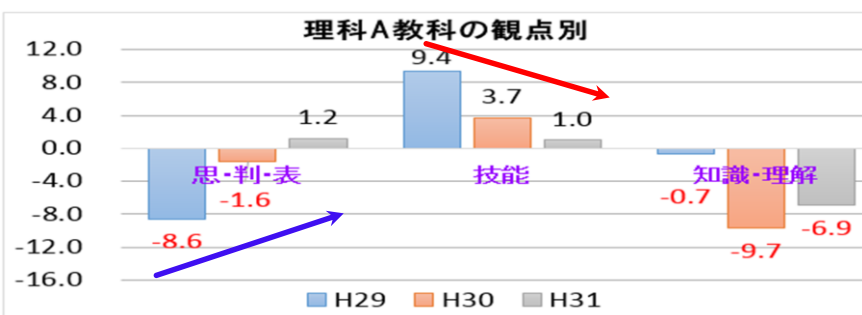
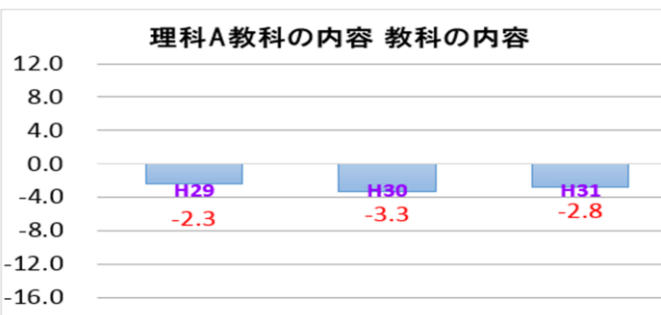
【成果】
社会的な思考・判断・表現では、資料と関連付けて説明する力が向上している。

【課題】
社会的事象についての知識・理解では、中世の政治の理解が深まらない。



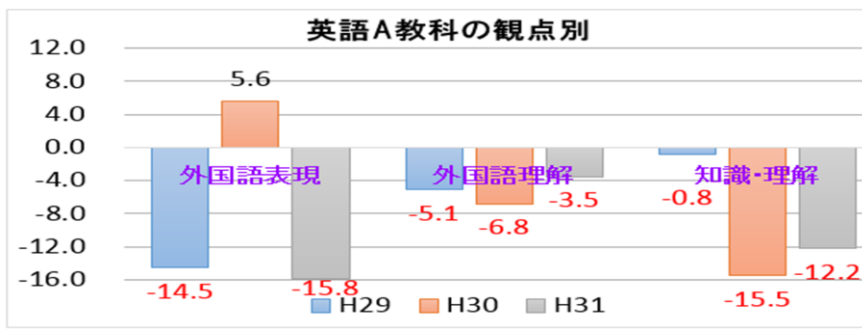
【成果】
数学的な技能では、正負の数や文字式の反復学習の理解が深まっている。

【課題】
数学的な見方や考え方では、作図の過程や意味の理解が深まらない。



【成果】
科学的な思考・表現では、対照実験について理解している。

【課題】
観察・実験の技能では、地層の構成物質の理解が深まらない。



【成果】
外国語表現の能力では、伝えたい内容を正確な文章で書く力が高い。

【課題】
前置詞の理解が深まらない。

2 国語・数学・英語の調査結果への対策

国語の課題

都と本市の平均正答率の経年差	H29 年度	H30 年度	H31 年度
【言語についての知識・理解・技能】 語句の係り受けについて理解し、適切に文章を書くことができる。	▲ 3.8	▲23.1	▲ 4.2
【読む能力】 登場人物行動の理由、気持ち、様子を読み取ることができる。	▲ 5.8	▲10.9	▲ 4.5
【書く能力】 伝えたい事実や事柄について根拠を明確にして書くことができる。	▲ 6.5	▲ 0.4	▲ 5.5



国語の対策

【言語についての知識・理解・技能】 ○読みに関するドリルを使用し、正しい読み方を身に付けさせる。 ○語彙を増やすために読書に親しませる(読み聞かせ・図書館の活用)。
【読む能力】 ○書き写し読書で多様な文章に触れさせ、読書の幅を広げる。 ○ワークブックを活用し、「読むこと」の問題の答え方を理解させる。
【書く能力】 ○書き写し読書で説明文・論説文を書くことにより、構成を学ばせる。 ○单元ごとに「書くこと」を取り入れ、根拠を基にして書くことを繰り返す。

数学の課題

都と本市の平均正答率の経年差	H29 年度	H30 年度	H31 年度
【数学的な技能】 正負の数の加法、減法、乗法、除法ができる。	3.3	▲ 8.1	▲ 0.4
【数学的な技能】 文字式の計算ができる。	0.4	12.3	7.3
【数学的な見方や考え方】 作図を見てその過程を説明したり作図の方法を表した文章について考えたり、図の意味を考えたりすることができる。	▲ 9.2	▲ 7.9	▲ 6.3



数学の対策

【数学的な技能】 ○ワークシートなどを使用し、授業や家庭学習で演算の機会を増やす。 ○定期的に復習確認テストを繰り返し、定着を図る。
【数学的な技能】 ○ワークシートなどを使用し、授業で反復して学習する。 ○復習確認テストを繰り返し、不十分な生徒には補充的な課題を与える。
【数学的な見方や考え方】 ○1 学年の「平面図形」で反復して学習を繰り返し、作図の定着を図る。 ○2 学年の図形の単元で根拠を基に証明する学習を反復する。

英語の課題

都と本市の平均正答率の経年差	H29 年度	H30 年度	H31 年度
【言語や文化についての知識・理解】 前置詞の意味を理解している。	▲ 6.7	▲24.9	▲ 6.5
【外国語表現の能力】 場面にあふさわしい表現を用いて書いたり応答したりすることができる。	▲ 7.8	▲12.0	▲18.3
【外国語理解の能力】 英文を聞いて概要や詳細、要点を理解することができる。	▲ 5.9	▲ 4.4	1.1



英語の対策

【言語や文化についての知識・理解】 ○前置詞を含んだイディオムの知識を单元テストで定着させる。 ○授業で前置詞のイメージをもたせる。
【外国語表現の能力】 ○ALTを活用して場面に適した表現をする機会を増やす。 ○身近なTopicについてPairでSmall Talkする機会を増やす。
【外国語理解の能力】 ○ALTを活用して教科書の本文から理解する場面を増やす。 ○視聴覚機器等を活用して英文を聞く場面を増やす。